

新年 あいさつ



幌延町長 野々村 仁

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい令和四年の新春をご健勝で迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政の運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。昨年を振り返りますと、一昨年に引き続き各種行事の中止、新型コロナウイルス感染症再拡大による外出の自粛など、やはり新型コロナウイルスに振り回された一年といえます。

しかし、新型コロナウイルス感染症で日本が落ち込む中にも、光が見え

始めた一年となったのではないのでしょうか。

延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが無観客でしたが開催され、テレビなどから映し出される選手団の勇姿には、町民の皆さま方も勇気や感動を覚えたことと思います。

さらに、新型コロナウイルスワクチン接種が本格的に開始され、本町におきましても昨年五月から開始することができ、希望される方への二回の接種が完了しました。

今後予定されております三回目の接種につきましても、町民の皆さま方に迅速な接種ができるよう尽力してまいりますので、本年も引き続き感染症拡大防止に向けた取組みへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本町では昨年、町政の最上位計画として位置付けられ、まちづく

りの方向性を示す指針としての役割を果たす『第六次幌延町総合計画』の策定が完了いたしました。

そこで決めました将来像は「共に拓き、共に創り、未来へつなぐ！笑顔と希望に満ちあふれるまちほろのべ」です。

その将来像の実現に向けて感染症対策を継続させつつ、国や道の経済対策等と連動した取組みを視野に入れたうえで、必要な取組みを重点的に推進することといたしました。

そのためには町民目線を基本とし、町民の日々の暮らしを着実に支え、「幌延町で暮らして良かった」と実感できるまちづくりを進めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症から町民の生命・生活を守っていくことはもちろんのこと、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中での行

政課題に取り組んでいきたいと考えております。

今年には十干が「壬（みずのえ）」、十二支が「寅（みずのえ）」の年となり、干支は「壬寅（みずのえとら）」となります。

虎は、『決断力と才知』の象徴としての意味があり、「壬」は「妊に通じ、陽気を下に娠（はら）む」、「寅」は「蟻（みみず）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があり、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年といわれています。

いままさに、新型コロナウイルスによる影響を受けた厳しい冬の時期を越え、アフターコロナへ向けた新たな成長を町民の皆さまと目指していきたいと思っております。

結びに、本年が皆さまにとって希望に満ちた明るい一年となりますようご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

令和四年元旦